

令和5年7月全国知事会議 山梨宣言

甲斐の国 山梨は、古来より東海道と東山道を結ぶ交通・行政上の要衝であり、重要な結節点であり、人や物が行き交う「交（か）い」の地。今も多様な背景を持つ人々が集い、新たな価値を生み出すべく、挑戦を歓迎する開かれた「開（かい）」の地 山梨において、少子化・人口減少、それに伴う地域社会の活力低下、自然災害、地球温暖化、混迷する国際情勢など、輻輳する危機を打開し、「子どもの未来、地球の未来」に貢献すべく、「共にたたかう知事会」として総力を結集し、挑戦していくことを決意する。

○想定を上回るペースで進む人口減少は、地方だけの問題ではなく、わが国の社会経済システムの基盤を崩壊させかねない深刻な問題である。今回、都市から地方への人や産業の流れをつくり、地方が活性化し、出生数増加による人口構造の若返りを図ることが地方創生の目的であり、地方創生の実現なくして、地方の未来、ひいては日本の未来はないとの危機感を共有した。特に子ども・子育て政策の実現に向けて、今こそ、国と地方が方向性を一にし、総力を挙げて取り組む時である。地方としてもしっかりと役割を果たすため、このたび、「子ども・子育て政策推進本部」を立ち上げ、子ども・子育て政策を抜本的に強化し、「子どもの未来」を守り育む、やさしい社会の実現を目指す。

○少子化・人口減少が進む中で、我が国が今後も持続的に発展していくため、年齢や性別、障がいの有無や国籍、性的指向・性自認などの違いにかかわらず、多様性が尊重され、誰もが、個性や能力を最大限発揮し、一人ひとりが幸福を実感できる社会の実現に向けた取組を推進していく。

○世界的な課題の1つである脱炭素社会を実現するためには、地方自らの積極的な行動により社会変革を先導していくとともに、地方が企業と叡智を結集させ、共に行動を積み重ねることで共創の一層の充実を図り、取組を加速化させることが重要であるとの認識を共有した。

○また、混迷する現下の国際情勢を乗り越えていくことも大きな課題の一つである。この度交流を再開した全米知事会をはじめ、脱炭素のほか、民主主義、地方分権といった価値観を共有しながら国際的な交流をより一層推進し、全国知事会としても持続可能な地球環境と国際社会の平和・繁栄による「地球の未来」づくりに貢献していく。

○全国知事会は、国、市町村、各種団体とのパートナーシップのもと知見を結集し「集合知」を発揮することで、新たな価値を生み出し、都市と地方が共に輝き、多様性と活力と安らぎをもたらす日本の未来、そして「子どもの未来、地球の未来」を創造するよう、更なる挑戦に果敢に取り組んでいくことをここに宣言する。

令和5年7月26日

全 国 知 事 会